

事務事業評価における総括

部 局 名	文化生涯学習部	記入責任者	鈴木 深雪
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>文化生涯学習部の第3次実施計画の事務事業数は、庁内共通事務等を除き57事業です。そのうちS評価が51事業、A評価が5事業、Z評価（未着手事業）が1事業で、概ね順調に進捗しています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>A評価とした文化生涯学習課「生涯学習機会の提供」については、目標値には届きませんでした。平成28年度実績54講座に対し81講座と大きく増加しています。これはまなびの市民講師数が28年度64人に対し84人に増加していること、また「まなびの市民講師WEEK」等、まなびの市民講師の発表及び活動紹介の場を設けるなど、事業周知の強化を図ったことが要因と考えられます。今後も市民講師の発表や活動紹介の場を設け、また生涯学習支援者養成講座の実施により市民講師の資質向上を図り、事業数の増加を目指します。</p> <p>また、男女共同参画課「平和について」ポスター作文コンテスト事業については、目標値に達成できませんでしたが、29年度の禎子の折り鶴の寄贈により平和の関心が高まり、また小中学校長会で事業周知を図ったため作品応募学校数は、25校から26校になり、対象学年児童生徒数の割合は48.5%から54.4%に増加しました。今後も関係機関と事業周知の強化を図り参加数の増加を目指します。</p> <p>男女共同参画課「平和啓発看板移設事業」が「Z」となった理由は、当事業は茅ヶ崎駅南口周辺道路整備事業に伴う都市アピール看板の移設事業ですが、茅ヶ崎駅南口周辺道路整備事業の遅れにより、当該年度に実施できなかったことによるものです。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>文化生涯学習課及びスポーツ推進課の指定管理に関する事業等につきましては、目標値は達成していますが、時代に即した行政経営の基本方針2017（C3成長加速化方針）を踏まえ、茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団の経営改善支援を進めます。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、市民のスポーツに対する関心が高まるような事業を実施します。また、パラスポーツの理解促進のための事業も実施します。なお、事業展開については、関係機関・関係団体等と連携を図りながら取り組みます。</p> <p>男女共同参画課の「男女共同参画社会の実現に向けた啓発等推進事業」につきましては、受講者数を増加させるための取り組みのみならず、社会情勢の変化に伴う新たな課題への対応や、既存事業のマンネリ化をさけるための新たな事業展開にも積極的に取り組む必要があります。受講者へのアンケート結果をもとに事業効果を丁寧に分析し、受講者のニーズを的確に把握し新たな講座の企画につなげるほか、事業の問題点の把握や次年度に向けた改善を図り、効果的かつ効率的な事業運営を行ってまいります。</p>			